

西田裕紀の

あの農場はこうして採用に成功した

第3回



(株)Life Lab
(ライフラボ)

西田 裕紀
Hironori Nishida

1978年愛知県生まれ。2005年に会社を設立し、翌年農業法人を中心とする一次産業の求人サイト「第一次産業ネット」をオープン。同サイトの会員（求職者）数は2万人。就職実績は年1000件を誇る。外国人技能実習生の受入れを担う、アジアアグリ協同組合代表理事も務める。<http://www.life-lab.co.jp/>

求人広告 3つのポイント

早いもので3回目の連載となりました。今回は人材採用の入口である「求人広告」についてちょっととしたコツを紹介したいと思います。

農場での人材採用には、ハローワークや一般の求人媒体への求人出稿、自社ホームページでの募集、知人紹介など手段は様々ありますが、求人媒体への出稿や自社ホームページで採用活動を行なう場合は、「求人広告」を作成することになります。

実は、この「求人広告」の作り方ひとつで、驚くほど簡単に「求めている人からの応募」がくるようになる

り、採用活動を成功に導くことができるのです。

求人広告を作成する際の重要なポイントには、①農場のアピール②福利厚生③写真、の3つです。これらの項目を「農場側が欲しい人材像とマッチするように作る」ことが重要となってきます。

たとえば、「20歳〜25歳くらいの体力のある真面目な男性が欲しい」といった男女と年齢指定の要望が多いのですが、求人広告の中で男女を指定することは法律で禁止されており、年齢に関しても基本的には指定することはできません（特定の条件

を記載することで、「何歳以下」などの指定は可能）。

そこで、例として上記の欲しい人材像の条件を3つのポイントを上手く活用して求人原稿を作成すると、こうなります。

①農場のアピール

若くて体力のある男性を求めているので、仕事は大変だがやり甲斐はある、若いスタッフが大勢活躍している農場……など若くて元気な男性が見たときに、「自分に合っているうだ」と思うような内容で作成するといいでしょ。また、男性はビジ

ョンに惹かれることも多いので、経営者の今後の経営ビジョンなどを明確に記載することも効果的です。

②福利厚生

法人であれば健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入していることが必須ですが、個人事業主の方でも雇用保険、労災保険に加入している方が求職者は安心して応募できます。また、今回は男性の募集なので車貸与、食事付きなどの福利厚生があると、より魅力的に映ります。

③写真

実はこれが一番重要です。求職者はたくさんある求人広告から応募先

を選ぶわけですが、求人広告を見たときに一番初めに目に飛び込んでくるのが写真なのです。

今回の場合は、農場で若い男性達が一生涯懸命に収穫している写真をメイン写真に使用し、その他の写真として、トラクターや農機を使用するならばその写真、福利厚生としてある食事の写真（大盛りだと強いアピールになります）、寮（外観と室内）や車の写真、経営者の写真、休日に遊びに行ける近隣にあるレジャースポットなどを掲載するとよりターゲットに請求できる求人広告になります。

このように、欲しい人材像と求人広告の内容を近づけることで、募集ターゲットの人が見たときに自分にぴったりだと思わせることが可能になります。

欲張っている人から応募がくるような求人広告を作って、他の求人広告に埋もれてしまうより、その時々で採用する人材を絞り、求人原稿を作り替える方が結果的に求めている人材からの応募がくるようになります。その結果として効率的・効果的な採用活動を行なうことができます。